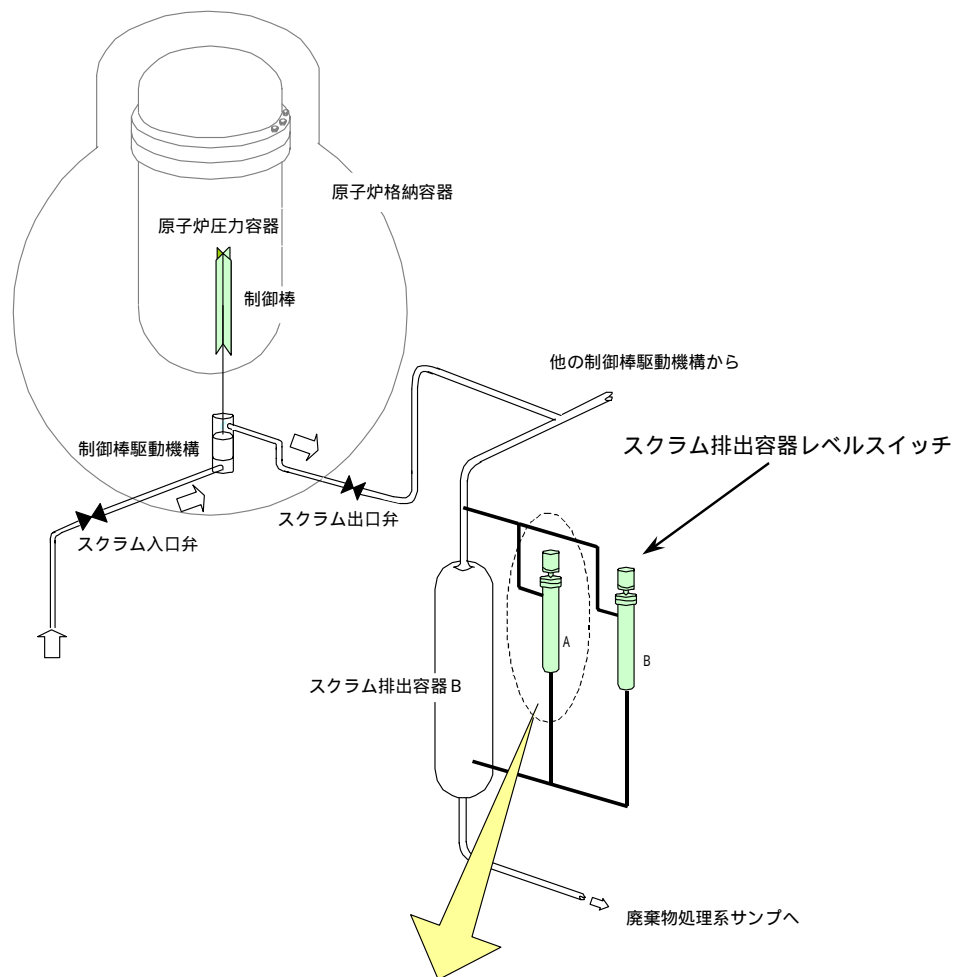


女川原子力発電所 定期検査・主要機器点検情報

No. 4

(平成16年6月分)

号 機	3号機	定 期 検 査	第2回定期検査
件 名	安全保護系設定値確認検査における判定基準逸脱について		
月 日	平成16年6月29日(火)	発 生	発 見 確 認
場 所	原子炉建屋	設 備	スクラム排出容器
設備概要	スクラム排出容器とは、原子炉が自動停止した場合、全ての制御棒駆動機構からの排出水を蓄える設備である。スクラム排出容器にはレベルスイッチを設け水位を監視している。		
所 見	・スクラム排出容器レベルスイッチについて、定期検査の安全保護系¹設定値確認検査を実施したところ、水位高信号の設定値 1109mm²(許容範囲 1102～1116mm)に対して、4台中2台が 1095mm、1090mmと許容範囲外で作動した。 ・当該レベルスイッチは、その後の校正作業により許容範囲内で動作するように調整を行い、問題のないことを確認した。 ・念のため当該レベルスイッチについて分解点検を実施し、校正作業を行った後に再検査する予定である。 1：安全保護系とは、原子炉の安全性を損なうおそれのある異常な状態や誤動作が生じた場合に、それを感知し原子炉を自動停止させたり、非常用炉心冷却系等を自動起動させるための信号回路のことです。 2：レベルスイッチ内の水位が上昇し、この設定値に達した場合原子炉を自動停止させる信号を発信する。		



レベルスイッチの作動原理

